総務文教委員会 行政視察報告

七月二十一日から二十三日まで北海道の三市を行政視察した。

旭川市では、「広報戦略プラン」について研修した。広報活動を市民とのコミュニケーション手段として捉え、行政活動の過程や成果を詳しく説明したり、克服すべき課題などを前もって提供して、問題意識や将来展望を市民と共有していくことを、広報の大きな役割だと位置づけ、職員の意識改革を進めながら市民からの意見や提言も反映させるという広報活動を学んだ。

旭川市で広報戦略プランについて研修

北広島市を訪問

岩見沢市では、「ぴぁねっと岩見沢」について研修を行った。小中学校二五校、市立高校一校で、衛星回線(通信衛星)と地上回線(テレビ会議)を組み合わせた双方向遠隔学習システムという遠隔学習で、スタジオから学習テーマに沿ったゲストの話や資料画像等を一斉放送する学習内容や意見交換ができる双方向学習などを実際の画像で学ぶことができた。

北広島市では、インセンティブ予算制度＝奨励金を設け、各部の先進性や波及効果などを評価して予算を追加配分する内容とエルフィン債＝事業費を金融機関ではなく住民参加型市場公募債で賄う地方債について学習した。

議会運営委員会 行政視察報告

委員会では、七月二十八日から三十日にかけて「議会改革・活性化」の取り組みについて行政視察を行った。

山口県周南市では「予算決算常任委員会」を設置するに至った経緯、運営方法及び効果について調査を行った。また、市民の声を聴くことを目的に設置された「委員会懇談会」についての調査も行った。

島根県松江市では「議会報告会」について、その実施方法、成果及び今後の課題についてを中心に調査した。成果として、

予算決算常任委員会の説明を受ける

意見交換を行ったことで、参加者から「議会が身近になった。」という感想があったとのことである。本市においても、十一月十八日の議会報告会実施に向け、大いに参考にしたいと感じた。

岡山県笠岡市においても、「予算決算常任委員会」を設置するに至った経緯、審査及び採決の方法を研修した。また、議会改革については、休日議会の実施について説明を受けた。

各市とも、議会運営に関して積極的に改革が行われていた。本市においても、今回の視察による調査結果を委員会で検討し、さらに市民の皆様の声を議会に反映できるように努めていきたい。

議会報告会についての説明を受ける

編集後記

十月二日「男女共同参画フェスタ二〇一〇」が行なわれ、市民公募劇が上演された。退職後の夫婦の一場面であり、妻たちが温泉旅行へ。その間、夫たちは「男の料理教室」へ。家事の楽しさや妻の有り難さをしみじみと感じ、炊いたご飯を自慢する。観客は「うんうん、そうそう」と頷きながら、「男女共同参画って、やっとわかった」の声。

男女共同参画は、なんにも難しくない。お互いを尊重し、感謝を態度で表す日常的なことなのです。

（幸恵）

議会報編集特別委員会
委員長　坂本靖男
副委員長　近藤幸恵
委員　長能文代
委員　與國洋